

事業名	平成23年度採択 中小企業技術開発促進事業<企業連携型> (公益財団法人京都産業21・京都府)【期間:平成23年10月から1年間】
テーマ名	安全・安心・有益な“生おから・乾燥醤油粕混合飼料”の開発
代表企業 構成企業	株式会社 京都庵 株式会社 高田商店

【研究開発の内容】

- ・生おからの保存性を高めて家畜飼料とする : 常温で 2ヶ月 の保存ができる
- ・生おから排出事業者でも簡単に製造できる : 安くつくれるので廉価で販売
- ・安全 安心 有益 な飼料 : 各家畜種に適した飼料となるよう栄養バランス、嗜好性成長状態、品質等の確認を行う (肉豚、肉牛、乳牛) 尚、各家畜種による「生おから飼料」の給与割合を研究

【成果概要】

安全・安心・廉価なエコフィード

「生おからを醤油粕 (醗酵原料) と単純に交ぜ合わせる」



研究・開発の成果

- ・常温で 2ヶ月間 保存可能
 - ・生おから排出事業者でも比較的簡単に飼料化できる(安い製造コスト)
 - ・各家畜種について従前配合飼料との代替割合を研究、嗜好性の良い生おから配合飼料にて試験を行う
 - ・嗜好性の良い配合飼料を給餌して成長、肉質、乳質等の確認、評価を行う
 - イ) 豚については20%の代替飼料を肥育全期間給餌、成長状態及び肉質の確認 ⇒ 従前飼料と遜色無し
 - ロ) 肉牛は32.5%の代替飼料を肥育前期に給餌、増体量と飼料要求率を確認 ⇒ 従前飼料と遜色無し
 - ハ) 乳牛は10%の代替飼料を夏の一番暑い時に給餌、乳量、乳質、健康を確認 ⇒ 従前飼料と遜色無し
- (参考)従前配合飼料は日本標準飼養に基づき設計された飼料ゆえ、おから飼料の試験結果が従前飼料と遜色無ければ合格

コメント

生おからを再利用した飼料化に向け、豚用飼料について「おから配合飼料」の配合比率を確立し、また牛用飼料について牛の嗜好にあう「おから配合比率」を確立するなど、当初の計画を概ね達成したことは評価できる。今後は、生おからの廃棄負担が軽減できる本格的な事業化に向けて更に踏み込んだ飼料製造の技術確立、システム構築を図ると共に、販路の確保を図り、地域において継続的な事業展開を期待する。(平成25年2月)